

# 産業応用フォーラム

## 「移動体エネルギーストレージの技術動向とその適用」

**概要：**ハイブリッド自動車・電気自動車・アイドリングストップ車をはじめとした自動車，ならびに鉄道などに，移動体用のエネルギーストレージシステムが幅広く利用されています。電気学会自動車技術委員会では，平成26年（2014年）10月から平成28年（2016年）9月までの2年間，(a)電気エネルギーを移動体に搭載するためのエネルギーストレージデバイス，(b)そのストレージ要素とエネルギーを利用する装置とのインターフェースを構成するための電力変換・伝送技術，(c)これに関連したエネルギーマネジメント技術の適用状況，を調査することにより，将来，移動体におけるエネルギーストレージシステムの適用範囲の進展に寄与することを目的として，「移動体エネルギーストレージシステムの活用調査専門委員会」を設置して調査活動を行い，その調査結果を技術報告にまとめました。本フォーラムは，移動体エネルギーストレージをとりまく技術動向の中で，特に(1)デバイス，(2)制御方式，(3)アプリケーションへの今後の期待，に関してその技術動向と適用状況についてまとめ，広く会員に提供するものです。前記調査専門委員会のメンバーを主に講師とし，同技術に関心のある技術者，研究者，学生等の皆様に広く対象として，最新の技術動向と応用を解説いたします。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

**日時：**平成31年2月19日（火）13:30～17:00(13:00 受付開始)

**会場：**電気学会 会議室

東京都千代田区五番町 6-2 HOMAT HORIZON ビル 8 階

JR 総武線（中央線各駅停車）市ヶ谷駅下車，徒歩 2 分

TEL: 03-3221-7312

<http://www2.iee.or.jp/ver2/honbu/31-doc-honb/map.pdf>

---

### プログラム：

1. 13:35－13:50 総論 石田 隆張（明星大学）
2. 13:50－14:35 「Hyper Battery™」を活用したアイドルストップ車用 12V 蓄電池  
可知 直芳（CONNEXX SYSTEMS）
3. 14:35－15:10 マトリックスコンバータの技術動向 春名 順之介（宇都宮大学）  
休憩
4. 15:25－16:10 バスの電動化，日・中・欧の現状、蓄電池の進化による今後の可能性と課題  
佐々木 正和（上智大学）
5. 16:10－16:55 V2G の研究開発・実証動向 太田 豊（東京都市大学）  
司会進行：石田 隆張（明星大学）

---

**テキスト：**電気学会技術報告「移動体用エネルギーストレージシステムとその適用」（会員価格（税込）：¥2,630，一般価格（税込）¥3,758）をテキストとして使用します。なお，希望者には特別価格（会員：¥2,500，一般：¥3,500）で頒布しますので，お申し込み時にその旨を記載ください。

**参加費（テキスト込）：**会員(正員)¥9,000-（不課税） 非会員(一般)¥20,000-（税込）

会員(准・学生員)¥5,000-（不課税） 非会員(学生)¥8,000-（税込）

**申込方法：**下記いずれかの方法より，お申し込みください。

○ホームページからのお申込み：<http://www.iee.or.jp/forum.html>

○電子メールでのお申込み：「産業応用フォーラム「移動体エネルギーストレージの技術動向とその適用」参加申し込み」と題記し，会員／非会員の別，氏名，所属，連絡先（住所，電話，電子メール），テキストの要・不要の別をご記入の上，平成31年2月9日(土)までに下記へお申し込みください。

明星大学 石田 隆張 e-mail: takaharu.ishida (at) meisei-u.ac.jp

**参加費支払い方法：**参加費は，当日に現金でお支払い願います。領収書は，原則としてフォーラム当日の日付で会場渡しとなりますが，その他のご指示がある場合は申込時にご連絡ください。

**主催：**電気学会産業応用部門 自動車技術委員会（ホンダ技術研究所 貝塚正明 委員長）

**協賛：**自動車技術会，キャパシタフォーラム